

学芸学部のカリキュラムポリシー

学芸学部英語学科は「幅広い教養と論理的・創造的な思考力」及び「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を持った教養人を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 広範で多様な基礎的知識と基本的な学習能力の獲得のため、総合教養科目として、健康に関する科目、言語及び情報リテラシーに関する科目、国内外の社会・文化・歴史に関する科目、経済活動を含めた人間の社会的活動に関する科目、人間性や生き方を理解するための科目を設置します。
2. 専門的な知識や方法論を体系的に学ぶために、以下の専門科目を設置します。
 - 1)基礎的な英語運用力を養うための英語コミュニケーション分野の科目
 - 2)国際理解・異文化理解を深めるための国際・地域研究分野の科目
 - 3)キャリア探求の基礎を築くためのビジネスコミュニケーション分野の科目
 - 4)人間性に関する教養を涵養するための文学・言語学・教育分野の科目
 - 5)身につけた知識・能力を統合的に活用して問題を解決し、新たな価値を創造するためのセミナー及び卒業研究
3. 批判的・論理的思考力や課題探求力やコミュニケーション能力を育成するために研究や討論を実践的に積み上げる参加型の授業を実施します。

学芸学部ディプロマポリシー

学芸学部は人文・社会科学の諸分野に関わる学芸を教授研究し、深く真理を探究して新たな知見を創造し、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与する「信念ある女性」を育成することを目的としています。英語学科では「幅広い教養と論理的・創造的な思考力」及び「グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力」を持った人材を育成することを目的としています。この教育目的に基づく教育課程を履修し、厳格な成績評価を経て卒業に必要な単位を修得し、以下に挙げる能力を身につけた者に対して、学芸学部英語学科は学士の学位を授与します。

1. グローバルな視点から言語及び異文化を理解する能力
2. グローバル化した社会における実践的な英語コミュニケーション能力
3. 修得した知識に基づいて、批判的思考ができ、グローバル化した社会に向けて論理的で創造的な発信ができる能力
4. 現代社会に必要とされる情報リテラシーを身につけ、国際社会に貢献できる能力